

ゆたあ〜と

地域連携室のご案内 医療ソーシャルワーカーの役割

地域連携室では、地域医療機関（患者様の転院受入調整及び紹介患者様の問い合わせ等）、市町村行政機関、介護保険機関（在宅事業所および施設等との調整）と幅広く各分野との連携業務を行っており、常に患者様のサポートとして関わることを心がけています。

今回は医療ソーシャルワーカーの役割についてご説明いたします。

医療ソーシャルワーカーとは、病気やけがによって起こる生活上の問題についてご相談をお受けし、福祉の立場から問題の解決のお手伝いをする専門の相談員です。

例えば、次のようなことでお困りでしたら、お気軽にご相談ください。

- ◎医療費の支払いなど、経済的な不安がある。
- ◎介護保険について知りたい。
- ◎身体障害者手帳について知りたい。
- ◎転院が必要で、療養ができる病院や施設の情報が知りたい。
- ◎退院後の自宅療養や介護サービスについて知りたい。
- ◎誰に相談したらいいのか分からないことがある。



発行
小国公立病院
0967-46-3111
おぐに老人保健施設
0967-46-6111
訪問看護ステーション
0967-46-6050

30号
平成30年9月3日



ご利用の方法

ご相談希望の方は、主治医や最寄りのスタッフを通じてお呼びいただくか、一階事務局内にあります地域連携室に直接お越しください。訪室ができないときはスタッフへお申し出ください。こちらから病室へ伺います。

ご相談は無料ですので、どうぞお気軽にご利用下さい。またご相談内容の秘密は厳守いたしますのでご安心下さい。

ご案内

地域連携室：1階事務局内
対応時間
月～金
午前8時15分～午後5時

※都合などで遅くなる場合はご相談に応じます

相談対応者



写真中：佐藤明日香（看護師）
写真右：穴井沙織（医療ソーシャルワーカー）
写真左：佐藤直美（医療ソーシャルワーカー）

熊本地震時の反省を活かして 備品を購入して頂きました

おぐに老人保健施設 相談員 宇野佳代

福祉避難所



小国町には、「指定福祉避難所」が3箇所（サポートセンター悠愛・小国町福祉センター悠ゆう館・おぐに老人保健施設）あります。この避難所は、災害の規模や発生時間に応じて、どの福祉避難所を開設するかを町が決めていきます。

高齢者や障害のある方、妊産婦など一般の避難所生活において何らかの特別な配慮を必要とする方の心身の健康状態を考慮して、必要性の高い方から優先的に指定福祉避難所を案内される仕組みになっています。

おぐに老人保健施設の指定福祉避難所では、2年前の熊本地震の際、3名の方を受け入れました。勿論、受け入れは初めてで、細かいことから全てが手探り

状態で、反省点は数え切れないほどありました。

今回、「平成28年熊本地震復興基金交付金の指定避難所等機能強化支援事業」として、避難所開設時に必要な備品を購入出来ることになり、反省点を活かしてシルバーカーや歩行器、車椅子を購入。災害時に対応できる様、施設で保管することになりました。



起きてはいけない災害ですが、今後災害が起こった時、指定福祉避難所として確実に機能し、安心して町の方に過ごして頂けるよう、体制や設備を整えている最中です。

はじめまして

小国公立病院外科

桑原暢宏

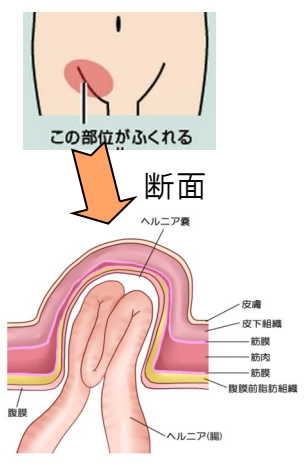
初めまして。私は今年の四月に当院に着任しました桑原暢宏です。名前の「暢」(フ)と読みます)の時は「流暢」と同じく「チョウ」で変換すると出てきますので、よろしく願います。

前任は、くまもと森都総合病院ですが、以前には宮崎県高千穂町の公立病院に7年間勤務していました。

高千穂は天孫降臨の神話があり、冬場に持ち回りで行われる夜神楽が有名ですが、町の平地がほとんど無く、自転車での移動は困難でした。同じ山間地域の小国郷は割と坂が少なく、住みやすく感じています。また、病院周囲の徒歩圏内には飲食店が多く、おいしい夕食(お酒も)に事欠かせないことも魅力の一つと思っています。長々と書かせて頂きましたが、期限を限らず公立病院に勤務させて頂きたいと思っておりますので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



単径(そけい)ヘルニア



専門は単径ヘルニアを含む腹部外科で、着任後、ヘルニアの手術を4件させて頂きました。前例にメッシュを用いた腹膜前修復を行い、良好な結果を得ております。鼠径ヘルニアの手術を考えておられる方は、一度ご相談下さい。

老健
便利

おぐに老人保健施設

〜夏祭り写真館〜



8月3日 金曜日
毎年恒例の「おぐに老人保健施設夏祭り」がありました。

今年には『黒川ひよつとこ愛好会』と『黒川やまなみ太鼓保存会』の2団体の方々に、夏祭りを盛り上げて頂きました。

ひよつとこ踊りは、不思議な動きが楽しくて面白く、職員も飛び入り参加したので、会場は笑い声に包まれました。やまなみ太鼓は、すごい迫力に釘づけで、大きな音とリズムに気が引き締まる感を覚えました。両団体とも、なかなか見る機会がないため、貴重な時間となり、ありがたく思いました。

他に、利用者様とご家族、職員同士がペアになって競う「箸落としゲーム」。なかなか落ちてこない箸。拾った箸が焦りで上手くペットボトルの中に入ってくれない。その焦りぶりが面白く、皆さ

ん、手を叩きながら笑顔で応援をされていました。

その後も、お楽しみ抽選会や花火大会で盛り上がりました。

みなさん、食事をとりながら楽しまれており、この笑顔を見るために、毎年、職員が頑張っています。「楽しかった」の言葉を利用者の方々から頂き、本当に良かったです。

老健スタッフやボランティアの方々の熱気、ひよつとこ踊りとやまなみ太鼓のメンバーの方々の熱気。焼き場から漂ってくる熱風。そしてご参加頂いた利用者とそのご家族の熱気。冷房の効いているはずの施設内は、暑い(熱い)、夏祭りでした。

ボランティアの方々にもお手伝い頂き、無事に夏祭りを終える事ができました。ありがとうございました。

トピックス!! ~優秀賞を頂きました~



検査室の有住将尚です。
先日、熊本県の糖尿病予防のキャッチコピー募集に応募したところ、優秀賞を頂き、蒲島知事から表彰されました。
応募動機は、私が今年の4月に熊本地域糖尿病療養指導士の認定資格を取得したので、これまでより深く糖尿病に関与しようと思っていたところ、当院総看護師長の波多野よりキャッチコピー応募を勧められたのがきっかけでした。

残念ながらキャッチコピー採用は最優秀賞の1点のみでしたので、皆様の目に触れることはほとんどないと思いますが、今回の表彰は非常に光栄に感じております。ちなみに、私の応募作品は

『糖尿病の予防薬「しっかり運動」「たっぷり野菜」処方できるのはあなただけ』

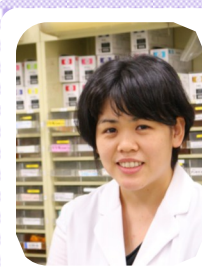
です。
生活習慣病である糖尿病へのアプローチは、私たち医療従事者だけでは限界があります。皆様と一緒に糖尿病へ向き合う事ができればと思っています。(恥ずかしそうしている子供と、私を見上げてる子供、この2人は我が子です)



職員川柳

『ゆたあ〜と』と
名付けた新聞
30号
「見てるよー!楽しみ!!」
嬉しい言葉
詠み人
ゆたあ〜と新聞編集長?

新職員紹介



宮崎 里美 薬剤師
所属:薬剤部

7月より勤務させて頂く事になりました宮崎里美と申します。小国の自然が大好きで、少しでも地域医療に貢献できるように努めてまいります。顔見知りの方も多いと思いますので、是非気軽に声をかけて頂ければ嬉しいです。よろしくお願い致します。



井上 美穂 介護職員
所属:おぐに老人保健施設

中津江村から通勤し、おぐに老人保健施設で入所者の方々や職員の方に助けてもらいながら楽しく仕事をさせて頂いております。小国地域の皆様に貢献できるようつとめて参ります。よろしくお願い致します。

次号のゆたあ〜と新聞は、
H30年11月1日(木)
発行予定です。
お楽しみに!!